

2月

<行事予定>

- 3日(月) 長寿会防犯パトロール日 街頭指導
かがやき集会 A日課開始～2/21日まで
小中連絡会(本校会場) PTA三役会
- 4日(火) 縄跳び集会 13:45～
- 6日(木) 朝の読み聞かせ 清潔検査 毎週火曜
- 7日(金) おはよう挨拶運動 2/4 18 25
- 10日(月) 全校朝会
バランスアップ週間～14日
- 14日(金) 安全点検・防犯ブザー点検
祝う会準備
- 15日(土) 卒業を祝う会・感謝する会
学校関係者評価委員会
- 17日(月) 振休
- 18日(火) 小中連携家庭学習強化週間～27日
PTA広報委員会
- 19日(水) クラブ
- 20日(木) 朝の読み聞かせ 6年生体験入学
- 26日(水) 委員会
- 27日(木) おはよう挨拶運動 保育園児お招き会
- 28日(金) ワックスがけ(体育館・プレイルーム)
放課後使用不可
- 3月
- 2日(月) 街頭指導 長寿会防犯パトロール日
- 4日(水) 学校保健委員会 クラブ
- 5日(木) 学習参観・中学校入学説明会・学級懇談
課外活動修了式 PTA広報委員会
※学級懇談で次期学級役員決め
- 12日(木) おはよう挨拶運動
- 17日(火) おはよう挨拶運動
卒業証書授与式
- 19日(木) おはよう旗作り
- 24日(火) 終業式・修了式
- 27日(金) 離任式(変更の可能性あり)
- 30日(月) PTA監査



飯田小ミニ情報誌



梅の里

NO. 11

令和2年
2月3日(月)発行

愛用の書道用具

校長

吉田 亮



今から三〇年以上前のことです。初任の学校に、毎年奈良から書道用具を売りにくる業者の方がありました。当時の管理職の先生が購入される中、わたしも興味があったので、少しばかり買ったことがあります。若かったわたしにとって少しお高い買い物でしたが、その時購入した全紙用の下敷や筆は、今も時折使っています。

既にボールペンや万年筆が広く定着していた時代です。業者的な将来について尋ねたことを覚えています。

「これから筆は不要になるのではないですか。」

「伝統技能として残っています。」

しばらく前までは、入学式や卒業式・研究発表会の看板、講演会の演題等は毛筆だったのに、今はパソコンを通して印刷したもののが大半を占めるようになっていきます。年賀状も同様です。

『卒業式』などの印刷された看板を見たとき、「きれいな

に仕上がった文字」と認識しても、味わいを感じることはありません。

筆を使った場合との大きな違いには、文字を書く際の意図的な法則崩しがあると思います。複数の文字を書くとき、どれも同じ大きさで書くのではなく、大きさを変えながらメリハリをつけます。また、常識的な画の書き方を変え、敢えてバランスを崩すこともあります。さらにその後の画の書き方を変えることで、崩れたバランスを元に戻すのです。こういった方法は、まだまだコンピュータにはできないことです。この文字の崩しを取り入れながら、全体としてうまく調和させることができたとき、我々は美を感じ、癒されるのではないのでしょうか。

子どもたちが書のよさに触れ、関心を高めてもらうために、わたしが昨年から始めたことがあります。三学期始業式の式辞の中で、大きな紙に書初めを書くことです。昨年は大河ドラマの影響を受けて『敬天愛人』今回は校訓である『敬愛』と書きました。これは、自身が書く喜びを味わうとともに、書初めに

取り組む子どもたちに景気づけの意味で刺激を与えようと思ったからです。

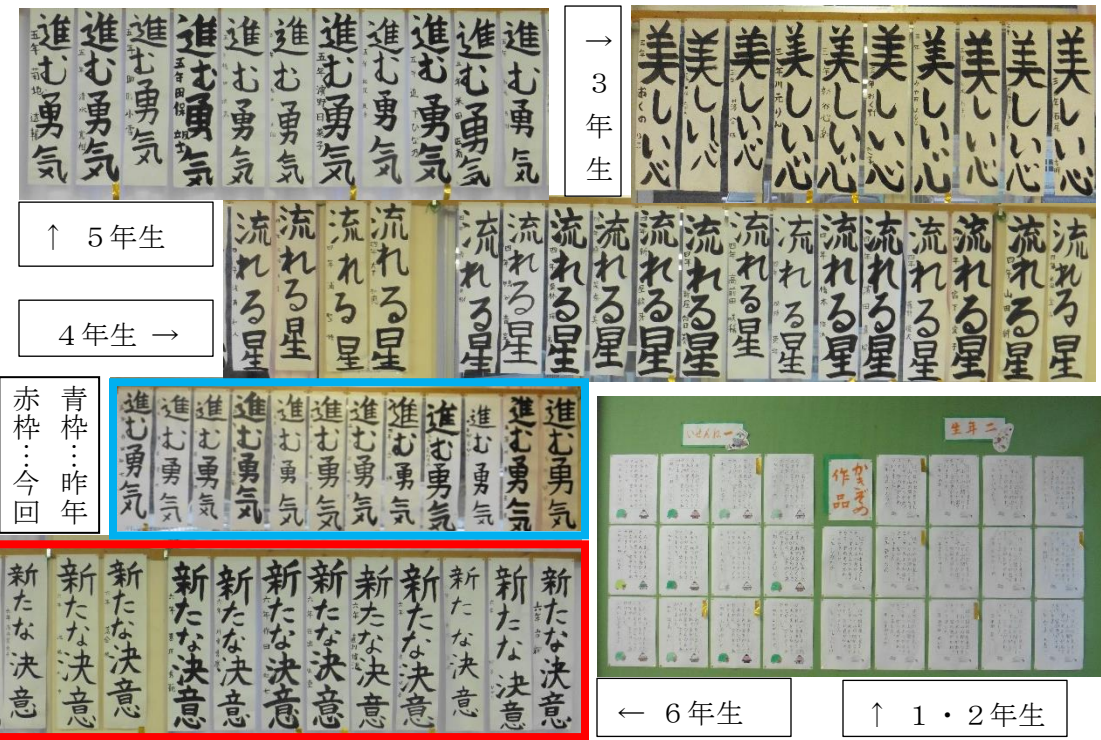
丸一年経過している中、強く印象に残っていたのか、昨年書いた四文字を覚えていた子が二人いたのには驚きました。実際書いた本人の記憶が曖昧なのにもかかわらず・・・。ちなみに、意味は、『敬天愛人・天を敬い、人を愛すること』・『敬愛・尊敬し、親しみの心を持つこと』です。『敬愛』という言葉は、校庭の像や玄関横額にあります。また、校歌の歌詞にも登場します。このように、昔購入した書道用具は、今も役に立っています。

子どもたちが腕を振った書初め。一人ひとりの作品に成長の跡を感じました。展示期間中、多数おいでくださいましてありがとうございました。

※全紙(70×136cm)



書初めで腕を振りました
紙上展示会 一月八日



どの教室にも緊張感が感じられ、真剣に紙に向かう姿が見られました。一文字一文字に気合を込めて書き、約束の時間内に作品を仕上げ、満足そうに食堂へ持ってきてくれました。冬休み中に、何十枚もの紙に練習したと話す子もいました。

また、友だちの作品を熱心に見る児童もたくさんいました。

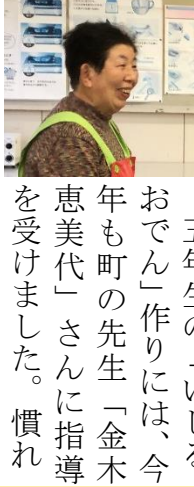


新年表彰（日記作文・書初）

◎日記作文の入選者			
1年	藤野 結大	新 泰地	濱岡 晃久
2年	角井秀汰朗	今井 瑛次	米田 花笑
3年	川元 凛	清水 珠里	
4年	池端 大喜	高前田咲稀	鴨谷 青空
	灰外 吏弥		
5年	橋田 暁太	濱野日菜子	道下ひな乃
6年	直川 偉洸	東出 真穂	柳谷ひかり
◎書初めの入選者			
1年	上地 悠知	濱野 海	藤野 結大
2年	今井 瑛次	宮田芽衣香	田端 真衣
	新屋 六花		
3年	宮田 陽菜	新谷 心暖	川元 凛
4年	濱田 真桜	橋本 悠汰	藤野 暖大
	新屋 綾芽	宮下 愛子	
5年	清水 寛樹	濱野日菜子	道下ひな乃
6年	作田 虹七	笹出 快吏	濱田 健吾
	落合 梢		

ありがとう町の先生
味噌作り・三年生
「味噌作り・三年生」
一月二〇日
「いしるおでん作り」
「米作り収穫感謝の会」
五年生 一月三日
「お箏教室・四・五年生」
一月三〇日

三年生は「すがたをかえる大豆」の学習の一環として、遠藤こうじ味噌製造販売店の「遠藤富美子」さんに来ていただいたり、味噌づくりを体験しました。一年の年月をかけて、樽の中で大豆が味噌に姿を変えていきます。一口くらの味噌が一年後にはできません。楽しみです。



五年生の「いしるおでん」作りには、今年も町の先生「金木恵美代」さんに指導を受けました。慣れない手つきで里芋の皮をむき、いつもなら「里芋きらい」という子も、自分でむいたちよつと小さくなった里芋を「おいしい」と食べていました。子どもたちは調理実習は大好きで、金木さんに「仕事が早い」と褒めていただきました。

「きた会」の方に来ていただいたり、収穫感謝の会も行いました。「いしるおでん」と「はざかけ米おにぎり」を一緒に食べてもらいながら、全員感謝の気持ちを伝えました。

四・五年生は、音楽の和楽器の学習を兼ねて、「お箏教室」を行いました。来て下さったのは、栄町の「濱塚基婦子」さんです。子どもたちが少しでも触ったり弾いたりできるようにと、以前に濱塚さんが学校に寄付してくださった箏二面の他に、ご自宅から一〇面も運んでくださり、体験させてもらえました。恐る恐る触っていた子どもたちも、一時間後には「さくらさくら」を弾くことができるようになりました。



地域の皆様の温かさ、能登の恵み、本物の魅力を存分に感じることで、ありがとうございます。皆様、ありがとうございました。

校歌伴奏引継ぎ式
一月八日

全校朝会で歌う校歌の伴奏は、代々子どもたちが担当しています。三学期始業式までは六年生が担当していましたが、いよいよ五年生に引継ぎました。引継ぎ式では、今まで弾いてくれていた七人の六年生一人一人が、自分の思いを語り、五年生や全校児童に対してエールを送ってくれました。また、バトンを受け取る五年生九人も、自分の言葉で頑張っていく思いを発表していました。毎年行っている引継ぎ式ですが、子どもたちの言葉がとても誠実で実感がこもっていて、素直に心に届きました。飯田小の伝統を受け継ぐ大切な時間となりました。



珠洲魅力いっぱい献立
一月三〇日

全国学校給食週間（二四日～三〇日）に合わせて、今回はいろいろな地区のメニューが出されました。中でも三〇日には「珠洲魅力いっぱい献立」と銘打って、メインには「能登牛井」と「珠洲産のト一一五のみそ汁」が出されました。特に、能登牛井が大人気でした。他の日では、北海道の「わかどりのザンギ」や島根県の「えんむすびごはん」が人気がありました。改めて、学校給食の楽しさと美味しさとありがたさを感じた一週間でした。



六年生は、食生活改善推進協議会の方々とも、ふるさとの味を伝えるための、調理実習を行いました。珠洲にはおいしい物がたくさんありますね。

